

【単元名】 みんなでBOSAI！自分たちの手で地域の防災の在り方をよりよくしよう（全35時間）

【単元の目標】 地域で過去に起きた災害について調査し、命を守る行動の在り方について考えたことを広く発信する活動を通して、災害時に地域に起こりうる危険性や人々の連携と協力の重要性を理解し、地域の実態を踏まえた防災の在り方について考えとともに、自助・共助の意識をもち日常生活からできることを実践しようとするようにする。

【単元の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①概念的な知識</p> <p>災害時には、地域の実態により様々な被害が想定されること、人々の命を守るために地域の人々がそれぞれの立場に応じて互いに連携・協力して被害の軽減に努めていることを理解している。</p>	<p>①課題の設定</p> <p>地域の実態を踏まえた防災の在り方について、過去に起きた災害と被害状況から課題を設定し、その解決に向けて自分にできることを具体的に考えている。</p>	<p>①自己理解・他者理解</p> <p>地域の実態に応じた防災の在り方に関心を持ち、自分の生活を防災の視点から見直し、異なる意見や他者の考えを受け入れたりしながら、自分の意思で課題を解決しようとしている。</p>
<p>②技能</p> <p>地域住民等の防災意識を捉えるために、アンケートによる調査を相手や場面、目的に応じた適切さで実施している。</p>	<p>②情報の収集</p> <p>地域における災害の状況や地域住民の防災意識を高めるために必要な情報について、目的や意図に応じて手段を選択して収集したり、情報の種類に応じて蓄積したりしている。</p>	<p>②主体性・協働性</p> <p>地域住民の防災意識を高め、日常の備えや地域の実態を理解することの重要性を伝えるために、防災に関わる人々等と協働して探究活動に取り組もうとしている。</p>
<p>③探究的な学習のよさの理解</p> <p>地域の実態や自分たちの生活に応じた防災の在り方の理解は、地域に起きた災害と人々の命を守る取組を進める人々や組織との関係を探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。</p>	<p>③整理・分析</p> <p>地域住民の防災意識を高める活動を進めるために、調査結果を数値化したり、マップ上で整理したりするなどして整理し、命を守る行動の在り方について考えている。</p>	<p>③将来展望・社会参画</p> <p>地域の実態を踏まえた防災の在り方や、被害を軽減するための備えや日常生活における人々との連携の大切さに気付き、防災意識を高める活動を行うとともに、自他の命を守るためにできることを考え行動しようとしている。</p>
	<p>④まとめ・表現</p> <p>地域住民の防災意識を高め、行動化を図ることに向けた自分の考えを、目的に応じて表現方法を選択し、伝える相手を踏まえて論理的にまとめている。</p>	

【キーワード】

過去の災害の様子、防災備蓄倉庫、自治体の取組、避難計画、避難訓練、避難所での生活（衣食住）、けがの防止・手当、防災マップ、防災に関する講習会、自助・共助・公助、自宅での避難、外での避難、学校安全計画、施設内での避難、高齢者、障がい者、幼児、防災意識 など

【関連する各教科等の学習】

国語：話すこと・聞くこと、書くこと（学習成果のまとめ・発信、情報収集等の場面において活用・発揮）

社会：日本の様々な地域、地域調査の手法、日本の地域的特色と地域区分、日本の諸地域、地域の在り方（地理的分野）

理科：大地の成り立ちと変化、気象とその変化（第2分野）

保健体育：傷害の防止

特活：通学路御確認、自分でできる安全点検、防災の視点を踏まえた学校行事 など

【指導と評価の計画】（35時間）

小単元名（時数）	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1 自分たちの地域において過去に起きた災害について調べよう（10時間）	・自分たちの生活経験や各教科等で学習したことを手がかりに、災害や防災について知っていることを出し合う。			①	・調査シート
	・これまでに起きた災害とその被害の実態について、「大分県災害データアーカイブ（NHK大分放送局）」などの資料等を用いて調べる。		②		・ノート
	・調べたことを、災害種別・地域別等に分類して、自分たちの地域の災害の実態を捉える。		③		・調査シート
	・地域住民の防災意識を高める活動を進めていくための手がかりとなる「防災フィールドワーク」の計画を立てる。		①		・計画シート
2 防災フィールドワークをして、地域における防災の在り方を考えよう（15時間）	・地区別に防災フィールドワークを実施する。 ★過去の「災害ファイル」を参考にする ★被害が起きた場所やその周辺を写真で記録する ★地域住民へのインタビューを行う ★自治会、防災士等と一緒に参加する		②		・行動観察 ・調査シート
	・フィールドワークで収集した情報を整理する。 ★川の氾濫や土砂くずれが起きた場所の写真を地図上に整理する ★インタビューで得られた情報を、内容ごとに分類して整理する ★自治会、防災士等とともに調べる	①	③		・マップ ・調査シート
	・整理した情報とハザードマップを比較しながら、ハザードマップに足りない情報を付け加えたり、自分の自宅周辺や通学路に、防災上必要な情報を加えたりする。 ★自治会、防災士、地域住民等とともに調べる		③		・マップ
	・地域住民へ発信する内容を決める。 ★地区別に周知する内容 ★高齢者や小さい子どもをもつ保護者に向けた内容 ★避難経路や避難場所 など ★発表の構成を考える。			②	・発表構成シート
3 命を守るための行動について発信しよう（10時間）	・文化祭等の学校行事の場で発信する。 ★会場に、防災フィールドワークで調べたりまとめたりした資料を災害ファイルとして掲示しておく ★発表の様子を録画しておき、Youtube等で配信する			④	・スライド
	・学習したことや発信したこと、自助・共助のために大切だと考えたこと等を「令和○年度版災害ファイル」にまとめ、学校・家庭・地域・関係機関に配布し共有する。 ・「今後の自分の生活に活かしたいこと」を、学習を振り返って書く。			③	・振り返りカード